

紘基会便り

発行者：寺本ひろゆき〒441-1101 豊橋市賀茂町字石城寺 4-6
携帯 090-8458-7575 TEL 0532-88-3451 FAX 0532-88-3422
(NO6) 平成24年12月10日

寒くなりました。みなさま体調の方はどうですか？風邪など引かないようご自愛ください。

さて、現在衆議院選挙戦真っ只中で選挙応援に奔走しておられる会員の方もおられると思います。紘基会は無党派の会派ですから、国政選挙ではみなさまのお考えのまま選択していただいて構いません。

12月定例議会が行われ、私は12月5日（水）1番目に質問しました。

質問事項は大きく2問

- 1、アジアゾウの10頭群れ飼育について、
- 2、「アイブラザ豊橋」にかかる指定管理者選定について

詳しくは会報に掲載するとともに議会報告会にご説明させていただくこととして、今回は年末年始の「紘基会」行事についてご案内させていただきます。

● 年納めの時事放談しよう会

と き：12月23日（日）午後1：00～4：00

ところ：職員会館3階 301 会議室（市電豊橋市役所前下車徒歩3分）

会場がいつもの文化会館ではないので注意してください。

豊橋市役所前にあり1階に「レストラン光富久」のある建物です。

ゾウ10頭群れ飼育が「ごまかしアンケート」のままに推進されていきます。

事業費を明記した市民アンケートを取るようにより要求して行こうと思います。

みなさまのご意見をお聞かせください。

また、衆議院選挙結果から来年の政局を予測など自由に語りあいましょう。

プレクリスマスイブということでころばかりのプチケーキを用意させていただきます。



● 新年会



と き：平成25年1月6日（日）午前10：00～午後2：00

ところ：寺本ひろゆき事務所（賀茂町石城寺 賀茂神社前）

10時に賀茂神社を参拝。

その後会員相互の新年挨拶と親睦の場にしたいと思います。

● 12月議会報告とゾウ10頭群れ飼育市民アンケートを求める集会

と き：平成25年1月26日（土）午後1：15～3：45

ところ：豊橋市民文化会館 第4会議室

今回の一般質問で行った「ゾウ10頭群れ飼育のごまかしアンケート」については怒りの声がたくさん届けられています。全くゾウ10頭群れ飼育に触れないアンケートなのに市民の9割が理解を示した、という豊橋市。それを問題にしない議員たち。

議員たちにも宣戦布告だ～！！ の気持ちです。

みなさん ぜひお誘いあつてご参加ください。

（裏へ）

●章南中学の浜名湖カッターボート転覆事故の和解報告会を開催します。

と き：平成25年2月2日（土）午後1：15～3：45

ところ：カリオンビル（市民センター）5階 大会議室

報告者：遺族代表：西野友章さん

代理人：小林 修弁護士 菊池 令比等弁護士

裁判所が示した和解案を豊橋市がすべて受け入れるということで、和解といえども（和解案は遺族の要求通り）全面的に遺族側の勝訴となったこの訴訟のすべてを報告します。また、市長謝罪の映像も公開します。

※主催は「絃基会」ではありません。

●カラオケ大会を行います

と き：2月中旬を予定 ところ：未定です。

飲み放題で歌い放題みたいないいところがあったらどなたかご紹介ください。

絃基会会員の方々はカラオケの上手な方が多いので素晴らしい大会になると思っています。

日程が決まり次第ご案内いたします。



●4月頃に鹿児島県知覧町に行く予定です。

日程については参加希望者と話し合っ決めてたいと思います。

知覧町（ちらんちょう）は、鹿児島県薩摩半島の南部中央に存在した町で、川辺郡に属していた。2007年12月1日に川辺郡川辺町、揖宿郡穎娃町と合併し南九州市となった。武家屋敷が残っており、「薩摩の小京都」と呼ばれる。知覧特攻平和会館がある。この知覧特攻平和会館を訪れる。

知覧特攻平和会館について（南九州市ホームページより）

知覧特攻平和会館は、大東亜戦争末期（戦後は太平洋戦争ともいう）の沖縄戦において、特攻という人類史上類例のない作戦で、爆弾搭載の飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料を展示しています。

私たちは、特攻隊員たちや各地の戦場で戦死された多くの犠牲によって、今日の平和日本があることに感謝し、特攻隊員のご遺徳を静かに回顧しながら、再び戦闘機に爆弾を装着し敵の艦船に体当たりする

という命の尊さ・尊厳を無視した戦法は絶対としてはならない、また、このような悲劇を生みだす戦争も起こしてはならないという情念で、貴重な遺品や資料をご遺族の方々のご理解ご協力と、関係者の方々のご尽力によって展示しています。

特攻隊員たちが二度と帰ることのない「必死」の特攻出撃に臨んで念じたことは、再びこの国に平和と繁栄が甦ることであつたらうと思います。この地が特攻隊の出撃基地であつたことから、特攻戦死された隊員の慰霊に努め、当時の真の姿、遺品、記録を後世に残し、恒久の平和を祈念することが基地住民の責務であらうと信じ、ここに知覧特攻平和会館を建設した次第であります。 以上



